

露店等の火災予防チェック

あなたのお店は大丈夫ですか？

露店等の開設時に注意

- 消火栓や防火水槽の上に開設していませんか。
- 消防車の進入路付近や周囲の建物からの避難の支障になりませんか。
- 対象火気器具等を使用する場合、消火器を準備していますか。
(対象火気器具等：自家発電機、ストーブ、七厘、バーベキューコンロ、グリドル、ガスコンロ、電気コンロ、電気ストーブなど)

ガソリンの貯蔵方法に注意



- 金属製容器にキャップをしっかり締めて貯蔵していますか。
- 自家発電機や対象火気器具等から離れていますか。
- 直射日光が当たらない、風通しの良い場所ですか。
- 観客等から十分に離れた場所ですか。

ガソリンを自家発電機に給油するときに注意

- エンジンを停止していますか。
- 明るく、風通しの良い場所ですか。
- 周りには人がいないこと、対象火気器具等が無いことを確認しましたか。
- 貯蔵容器のキャップを開ける前に圧力調整弁を開放していますか。



LPガス取り扱いの注意



- ボンベの設置は火気から離れた直射日光の当たらない場所ですか。
- ボンベは転倒しないよう固定していますか。
- 器具やゴム製ホースはLPガス専用のものですか。
- ゴム製ホースはひび割れが無く、ホースバンドで締め付けていますか。

その他の注意点

- 対象火気器具等の周りに危険物・可燃物はありませんか。
- 対象火気器具等の取扱説明書の安全事項は守っていますか。
- 電気器具はタコ足配線にせず、許容電流を守っていますか。
- 2日間以上開設の場合は、危険物や可燃物等を持ち帰り、放火対策をしていますか。



お問合せ先

筑後市消防本部 予防課

0942-52-2020 (34・35)

イベント会場等における ガソリンの貯蔵・取扱い時の留意事項

ガソリンの特性

- 引火点はマイナス40度程度と低く、極めて引火しやすい。
- 揮発しやすく、その蒸気は空気より約3～4倍重いので、滞留しやすく可燃性の雰囲気
気が広範囲に形成されやすい。
- 電気の不良導体であるため、流動等の際に発生した静電気が蓄積しやすい。

貯蔵・取扱い時の留意事項

- ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発生する機械器具等を用いないでください。ガソリンを取り扱っている場所から1 m離れた場所に置かれた洗濯機で火災に至った事例や、火気や火花がなくても人体に蓄積された静電気で火災に至った事例が報告されており、ガソリンを取り扱う場合は細心の注意を払わないと容易に火災に至る危険性があります。
- 静電気による着火を防止するためには、金属製容器で貯蔵するとともに、地面に直接置くなど静電気の蓄積を防ぐ必要があります。また、消火器を必ず準備しましょう。
- ガソリン容器からガソリン蒸気が流出しないように、容器は密栓するとともに、ガソリンの貯蔵や取扱いを行う場所は火気や高温部から離れた直接日光の当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。特に夏期においてはガソリン温度が上がってガソリン蒸気圧が高くなる可能性があることに注意しましょう。
- 取扱いの際には、開口前に圧力調整弁の操作等、取扱説明書等に記載された容器の操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払いましょう。万一流出させてしまった場合には少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用禁止や立入りの制限等が必要です。衣服や身体に付着した場合は、直ちに衣服を脱いで大量の水と石けんで洗いながしましょう。
- ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守し、特にエンジン稼働中の給油は絶対に行わないようにしましょう。



ガソリン貯蔵に適した容器の例
(金属製容器であることが必要)



ガソリン貯蔵に適さない容器の例
(樹脂製容器は火災危険性が高い)

お問い合わせ先

筑後市消防本部 予防課 0942-52-2020 (34・35)